

大阪府私学教育情報化研究会

会長 奥田 三郎

(大阪国際大和田中・高等学校校長)

第 16 回 研究発表大会の開催にあたって

平素は、当研究会の活動にご理解、ご協力を頂きまして、まことにありがとうございます。

いよいよ今春には、新教科「情報」がスタートします。先般は、各校にお願い致しました「情報アンケート」にご記入を頂き有難うございます。5月に開催致します総会では、詳細な報告をさせて頂く予定にしております。現在までに寄せられた回答によりますと、大阪府下の私立学校では、情報関連の施設・設備、そしてカリキュラム等におきまして一段と充実に力を入れている学校が増えてきたようで、心強く感じております。今後は、従来のように公立、私学といった区別なく、益々生き残りをかけた競争が激しくなってくると思います。しかし幸いなことに単に大学への進学成績の結果だけで、学校の評価が決まる時代は、そろそろ終焉を迎えつつあるようです。社会の価値観の多様化にみられるように、様々な尺度の豊かさを特徴にかかげる学校が続々と現れ、お互いに切磋琢磨する状況が生まれることを願っております。その豊かさのものさしの中には、必ずや「学校の情報化」が、重要になってくると思われれます。授業の情報化のみならず、学校全体の情報化の実現こそが、現在、教育に求められている課題であり、教員と生徒が十分に時間を費やせる「ゆとり」創りにつながるものと確信しております。

平成 13 年 9 月より実施してきております「情報」・「総合」関連の授業公開キャラバンも、みなさまのご協力のお陰で、延べで 500 名を越す先生方にご参加を頂き、実施回数も 16 回となりました。毎回、授業公開の終了後に意見交換会をおこない、他校の情報化の様子や課題についてお聞かせ頂いた成果が、本日この発表大会で十分に活かされて充実した発表会になることを期待しております。

発表大会の開催にあたりましては、私立中学校高等学校連合会からもご支援ご協力を頂くことができ、今回は、各校の管理職の先生方にもご参加頂くことができ、心より感謝申し上げる次第です。

教育情報化研究会は、まだ発足して 20 年もたたない最年少の研究会ではありますが、現在の役員の先生方には、熱心に研修会等の企画を継続的に立てていただき、毎月 1 回以上の役員会を行なっております。来週、3 月 8 日(土)には、東京で開催されます CEC(コンピュータ教育開発センター)主催の E スクエア・アドバンス成果発表会におきまして、大阪私学のキャラバンの取り組みが紹介されます。全国的にもこれほどまでに頻りに先生方が連携して授業公開を進めている例は、他にはみられません。来年度も継続して実施致しますので、是非、次回は、先生方の学校で開催させて頂きたいと考えております。今後もみなさまのご支援とご協力を宜しくお願い致し、開催に際してのご挨拶とさせていただきます。